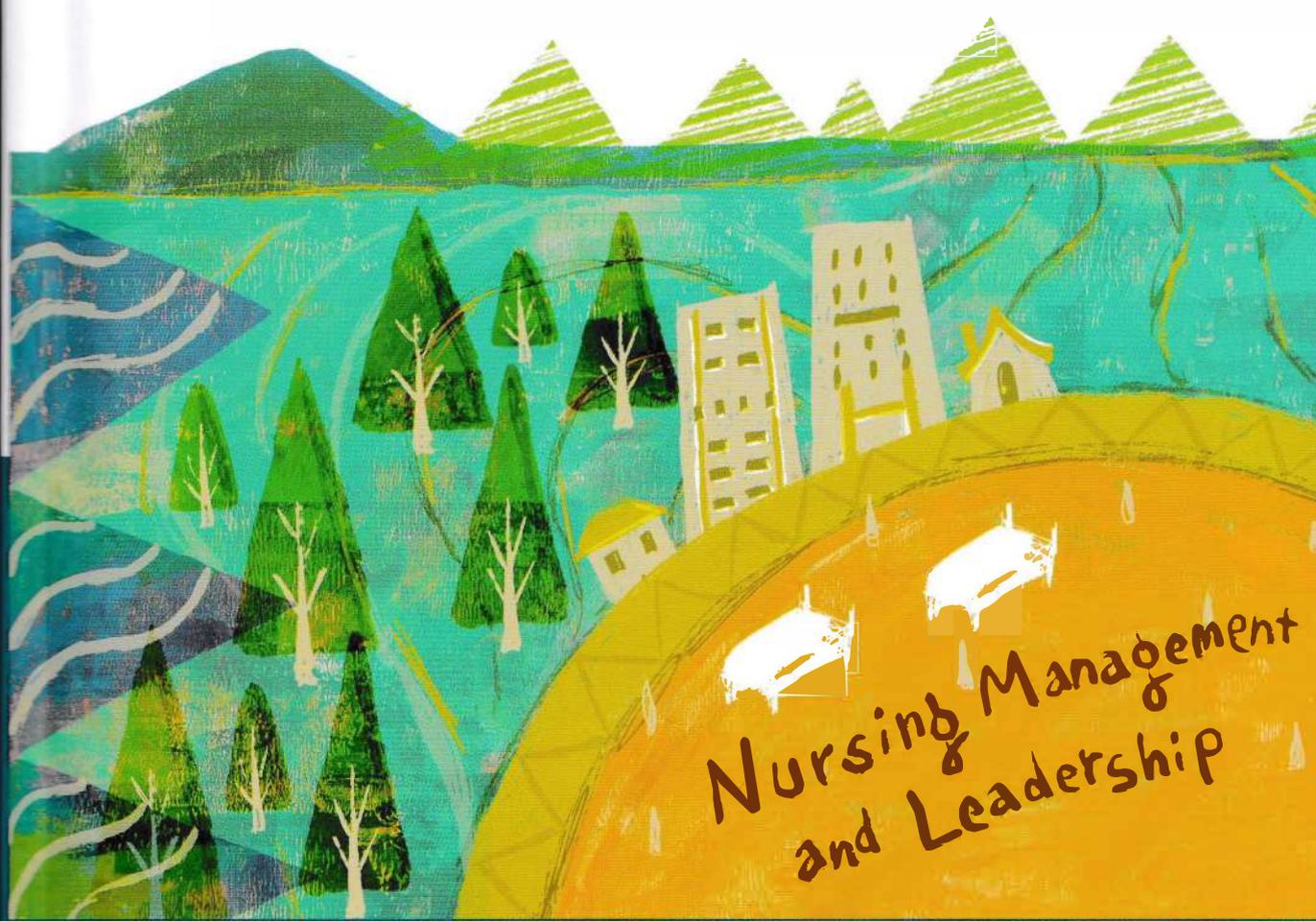


看護の統合と実践①

看護管理



Nursing Management
and Leadership

看護管理



ARコンテンツ

- 「メディカAR」の使い方 2
- 災害看護教育のあり方と課題（動画） 29
- 看護方式（アニメーション） 109
- 看護記録の開示と訂正（動画） 148
- KYTの実際～事故予防のために（動画） 176
- 申し送り（動画） 220
- カンファレンス（動画） 220
- 福祉現場で働く看護職（動画） 263
- 看護師の一日からみる看護管理（アニメーション） 323

- はじめに 3
- 本書の特徴 5

1 社会の変化と看護職の役割

- 1 人々の生活と看護の関わり 16
 - 1 看護と看護職 16
 - 1 誰もが「看護」する力をもっている 16
 - 2 専門職としての看護 16
 - 2 日本の社会制度における看護職の位置付け 17
 - 1 看護の制度 17
 - 2 看護師の仕事 17
 - 3 他職種と看護職の関係 18
 - 3 看護が行われる場と活動 18
 - 1 看護職の活動の場 18
 - 2 地域包括ケアにおける「看護」 19
 - 3 健康危機と看護職 19
 - 4 看護の対象の多様化と看護活動 19
 - 1 国籍・文化背景の多様性 19
 - 2 セクシュアリティの多様性 20
 - 3 多様性と向き合うこれからの看護 20
 - 5 看護職者の多様化と看護活動 21
 - 1 教育背景や社会経験の多様性 21
 - 2 外国籍の看護師 21
- 2 日本の看護職の活動の変遷 22
 - 1 歴史を学ぶ意味 22

2 職業としての確立から第二次世界大戦終了まで 23

- 1 看護職の誕生 23
 - 2 産婆の業務法定 23
 - 3 看護教育の開始と卒業生の目覚ましい活動 23
 - 4 看護師の身分法、看護婦規則の制定 24
 - 5 看護職の活動の場の多様化 24
 - 6 戦時体制と保健師の誕生 24
- 3 第二次世界大戦後から看護師等の人材確保の促進に関する法律まで 25
- 1 GHQ主導による看護制度づくり 25
 - 2 新制度による困難と准看護師制度 26
 - 3 「完全看護」「基準看護」と看護師不足 26
 - 4 地域での看護活動 27
- 4 看護師等の人材確保の促進に関する法律から今日まで 27

- 1 「専門職」としての発展に向けた制度の整備 27
- 2 看護職の役割の変遷 27
- 3 在宅看護制度の整備と発展 28
- 4 看護活動の質の変遷 **AR** 29
- 5 看護師の働き方の変遷 29

3 SDGs：これからの社会と

- 看護の役割・責任 31
- 4 看護のイノベーション 34
 - 1 看護の革新 34
 - 2 看護が起こすイノベーション 34

2 協働：他者と共に活動すること

- 1 チームを効果的に機能させる 38
 - 1 協働するための視点とスキル 38
 - 2 チームをとらえる俯瞰的な視点：チームがより良く機能すること 38
 - 1 チームの機能 38
 - 2 チームワーク 39
 - 3 学習 39
 - 4 チームが効果的に機能している状態 39
 - 5 チームの発展 39
 - 3 チームに貢献するためのスキル 40
- 2 リーダーシップ 42
 - 1 リーダーとリーダーシップ 42
 - 2 リーダーシップの理論 42
 - 1 特性論 42
 - 2 行動論 43

apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/346168/9789240036727-eng.pdf?sequence=1&isAllowed=y. (参照2022-08-02).

4) 国際看護師協会. ICN 看護師の倫理綱領 2021年版. 日本看護協会国際部訳. 2021. p.8. <https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/rinri/icncodejapanese.pdf?ver=2022>. (参照2022-08-02).

5) マイケル・マーモット. 健康格差：不平等な社会への挑戦. 栗林克幸監訳, 野田浩夫訳者代表. 日本評論社. 2017. p.341.

6) 日本看護協会. 看護職の倫理綱領. 2021. https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/rinri/code_of_ethics.pdf. (参照2022-08-02).

7) International Council of Nurses. "ICN says health workers will have to deal with consequences if COP26 Declaration fails to deliver". 2021. <https://www.icn.ch/news/icn-says-health-workers-will-have-deal-consequences-if-cop26-declaration-fails-deliver>. (参照2022-08-02).

重要用語

ミレニアム開発目標
MDGs

持続可能な開発目標
SDGs

グローバルヘルス

4 看護のイノベーション

1 看護の革新

科学技術の進歩、人間や社会に対する理解の深まりや価値観の変化とともに、看護も研究で得た知見に基づき革新を続けている。例えば褥瘡ケアでは、円座による除圧から体圧分散へ、創部を乾燥させるケアから組織再生を促すために湿潤環境を保持するケアへと進化した¹⁾。看護技術の開発に並行して、体圧測定器や体圧分散マット、ドレッシング材などモノの開発も進められた。そのほか、入院や手術を予定している子どもの不安を軽減し心構えを育むためのプレパレーション^{*2)}や、身体拘束予防ガイドライン³⁾など、認知や心理面を含むケア技術も研究知見の蓄積によって開発されている。

看護の革新は、個別のケア方法にとどまらない。入院が決まった患者を入院前から退院まで一貫して担当する看護師を配置し、入院前から病床や多職種調整を行う⁴⁾など、組織や業務の再編による質保証・効率化や、人工知能を用いた音声認識で看護記録を行うシステム⁵⁾、看護動線量のシミュレーションを用いた病棟運営評価の検討⁶⁾など、科学技術を用いた看護支援も進められている。地域包括ケアへの移行やコンパクトシティ^{*}の推進など、地域での保健医療のあり方も変化している。

看護師は、変化する社会の中でより効果的・効率的に良質な看護を提供するために、さまざまな革新に積極的に関与することが求められる。

2 看護が起こすイノベーション

イノベーションは、既存のものをより適切なものに変えていく「革新」の意味も含むが、刷新や新機軸と訳されることもあるなど、既存の枠組みにとられない、新しい技術や商品、市場や資源、経営システムを導入することを指

用語解説*

プレパレーション

治療や検査、手術を受ける子どもに対して、発達段階に応じた方法で説明したり配慮したりすることで、子ども自身が理解し、心の準備をして、臨めるよう手助けをすること。子どもの対応能力を引き出し、子ども自身の能力と主体性をサポートし、経験を肯定的なものにする。

用語解説*

コンパクトシティ

人口減少・高齢化が進んでも持続的に成長し、人々の生活の質を高めることを可能にすることを目的に推進されている集約型の都市構造社会。ある程度の人口がまとまって居住することで、福祉や商業等の生活サービスや各種産業が持続可能となり、公的サービスの集約化・効率化ももたらされる。徒歩や公共交通で容易にアクセスできるため、外出が促進されて健康が増進することや、自動車への過度な依存が抑制されて二酸化炭素排出量が削減されるといった環境面での効果も期待されている。

す。デザイン思考をビジネスに取り入れることを提唱している佐宗は、イノベーションを生み出すには、「人間の生活にとって理想的な姿を描く力（デザイン）」、「理想的な姿への解決策を実現させる力（エンジニアリング）」、「解決策のインパクトを持続可能に最大化する仕組みを作り、人を動かしていく力（ビジネス）」の三つの力が必要だと述べている⁷⁾。以下に、看護師として潜在的なニーズに気づき、それぞれの理想に向けて新しいサービスを創出した事例を紹介する。

町なかの保健室⁸⁾

学校の保健室のように、地域の人たちが健康や医療、介護に関する困りごとや疑問を気軽に相談できる場所があれば、そこで有用な情報を得たり、必要な社会資源につながったり、気持ちを休めたりできるのではないかな。

訪問看護師の秋山正子氏（株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーション統括所長/暮らしの保健室室長）は、長年の訪問看護の経験から、人々が住む町なかに、気軽に立ち寄り、看護職等の保健医療福祉の専門家に無料・予約なしで相談できる居心地の良い場所をつくりたいと考えた（デザイン）。厚生労働省の在宅医療連携拠点事業⁹⁾に採択され（ビジネス）、地域の人々やボランティアの協力を得て、高齢化の進む都心の団地に「暮らしの保健室」を開設した（エンジニアリング）。その後、日本財団の助成を受け、暮らしの保健室の開設・運営を支援する取り組みを行っている（ビジネス）。

夢をかなえるオーダーメイドの看護サービス⁹⁾

病気や障害等のために、行きたい場所ややりたいことがあっても、あきらめたまま最期を迎えている人がいるのではないかな。看護の力で夢をかなえ、誰もが最期まで生きがいをもち、命を輝かせられる世界をつくりたい。

株式会社ハレ創業者の前田和哉氏は、病院では患者の望みを傾聴する時間が限られることや、終末期患者が望むように過ごせないことにジレンマを感じ、訪問看護師に転職した。在宅で看取りに関わる中で、生きがいや喜びが患者の「命を輝かせる」ことを実感した。前田氏は、進行がんを患う自身の義母を、看護師である自分たちがいることでフォトウエディング¹⁰⁾に招待できた経験から、病気や障害、加齢による不自由さを抱えている人に看護師が付き添って夢をかなえる（デザイン）、保険適用外の外出サービスを構想し、起業した（ビジネス）。サービス利用者の主治医や担当看護師から情報を得て、必要な医療行為を提供できる体制を整えたり、外出先の下見や調整を行うほか、顧客から

用語解説*

在宅医療連携拠点事業

平成23年度に開始した厚生労働省医政局による公募事業で、在宅医療を提供する機関等を連携拠点として、多職種協働による在宅医療の支援体制を構築し、医療と介護が連携した地域における包括的かつ継続的な在宅医療の提供を目指すモデル事業。連携拠点に採択された場合は、多職種連携の課題に対する解決策の抽出、在宅医療従事者の負担軽減の支援、効率的な医療提供のための多職種連携、在宅医療に関する地域住民への普及啓発、在宅医療に従事する人材育成を行うことが求められた。

用語解説*

フォトウエディング

挙式や披露宴を行わず、あるいは挙式や披露宴とは別の機会に、ウエディングドレスやタキシード、和装など結婚式の衣装を着て写真を撮影し、結婚の思い出をつくること。

のさまざまな希望に応じている（エンジニアリング）。

大学発ベンチャーで重症化予防¹⁰⁾

糖尿病などの慢性疾患患者に、慢性疾患の自己管理を支援する技術を有する看護師が早いタイミングで関わることであれば、重症化や再発を予防し、本人の幸せや医療費の適正化に貢献できるのではないかと。

慢性疾患患者は薬物治療に加えて、生活習慣の変容や長期間のセルフケアが必要となる。広島大学の森山美知子教授は、看護職が高度な専門性を発揮することで、患者が生活習慣を変容し自己管理を続けることができると考え（デザイン）、支援技術の開発・教育・実践に取り組んだ（エンジニアリング）。研究によって開発した慢性疾患自己管理支援プログラムをより多くの人々に届けるために、大学発ベンチャー*として株式会社DPPヘルスパートナーズを設立し、自治体を含む医療保険者を顧客とした（ビジネス）。プログラムが重症化予防と医療費節減に有効であることを実証して全国から顧客を募り、専門的トレーニングを積んだ看護師を養成してプログラムの提供を行っている（ビジネス）。

このように、新たに生み出されたサービスは、人々の健康と幸せに貢献すると同時に、看護職にも専門性を社会に役立てられる喜びをもたらす。イノベーションは、看護の重要な役割だといえる。

用語解説*

大学発ベンチャー

大学で開発された新しい技術や研究成果を用いて、事業化あるいは創業した事業体。大学教員等が自ら企業を設立する例もあれば、契約を結んだ企業に技術移転して事業化する例、企業と大学の共同研究の成果を企業が事業化する例などがある。

引用・参考文献

- 1) 菱沼典子ほか編。看護技術の科学と検証：研究から実践へ、実践から研究へ。第2版。日本看護協会出版会、2013。
- 2) 涌水理恵ほか。日本の小児医療におけるプレパレーションの効果に関する文献的考察。日本小児看護学会誌。2006。15（2）。p.82-89。
- 3) 日本看護倫理学会 臨床倫理ガイドライン検討委員会。身体拘束予防ガイドライン。2015。http://jneanet/pdf/guideline_shintai_2015.pdf。（参照2022-08-02）。
- 4) 川口幸子。東海大学医学部付属病院におけるPFM15年の取り組み。看護展望。2014。39（11）。p.968-973。
- 5) 内平直志。音声つぶやきによる看護・介護サービスの記録・連携支援。人工知能学会誌。2013。28（6）。p.893-898。
- 6) 竹内貴洋ほか。BIMを用いた看護動線量シミュレーションによる病棟計画及び運営の評価に関する研究。日本建築学会計画系論文集。2020。85（767）。p.33-40。
- 7) 佐宗邦威。世界のトップデザインスクールが教える デザイン思考の授業。日本経済新聞出版。2020。p.26-38。
- 8) 白十字在宅ボランティアの会。暮らしの保健室。https://kuraho.jp/。（参照2022-08-02）。
- 9) 株式会社ハレ。かなえるナース。https://ha-re.co.jp/。（参照2022-08-02）。
- 10) 森山美知子。広島大学大学院医系科学研究科 成人看護開発学 森山研究室。https://seijin.hiroshima-u.ac.jp/。（参照2022-08-02）。

重要用語

看護技術の開発
モノの開発
ケア技術

質保証
効率化
科学技術を用いた看護支援

イノベーション